

提 言 書

平成24年2月

勝 浦 市 市 民 会 議

勝浦市長 猿田寿男様

私たち市民会議委員25名は、市の求めに応じ、平成23年10月に市民会議を立ち上げ、次のことについて審議してきました。

- 市民会館跡地の利活用について
- その他市政全般について

今回の審議を通し、改めて本市の課題について考えさせられ、また、本市を見つめ直す機会になりました。

私たち委員も、個人、地域、そして各団体の一員として、本市のまちづくりに主体的、また、積極的に係わっていきたいと考えます。

市におかれましても、このような委員の気持ちをご理解いただき、より良いまちづくりに向けて、積極的に取り組まれることを期待して、提言します。

平成24年2月15日

勝浦市市民会議

座長 児安利之

提 言

1 市民会館跡地の利活用について

市民会議での意見等を踏まえた、市民会館跡地の駐車場としての整備については、理解が得られたものの、イベント時を除く駐車場使用状況について指摘があり、駐車場整備についての疑問も投げかけられた。

また、広場等としてのスペース確保の意見のほか、P F I_{注1}等の活用による駐車場を含む複合ビル整備の提案もなされた。

なお、主な意見等は次のとおり。

- 平日における現行の駐車場は、ガラガラ状態なので、全部駐車場が良いのかということを検討されたい。
- 駐車場として整備するのであれば必要最小限とし、多目的に使える方にウエイトを置いた方がよい。駐車場が不足するというのであれば、勝浦駅北口を駐車場として整備すべき。
- イベント等は、アスファルトであっても開催可能なので、早めの整備を希望する。
- 駐車場プラスアルファの施設として、多目的公園、排水浄化設備の設置を希望する。
- 駐車場として整備することについては異存ないが、将来に向けた構想と期日を明確にされたい。
- 市の成長戦略の具体的事業として位置付けし、駐車場と飲食、物品販売機能を併せ持った複合ビルが望ましい。また、高速バスを含む公共交通の要所としてのバスターミナルとしての活用も考えられる。
なお、整備に当たっては、P F I_{注1}等民間資金の活用を図るべき。
- 寺泊、大洗のような朝市とも両立できる整備を図っていく必要がある。
- 財政問題もあるが、全天候型施設整備となれば、朝市も毎日開催でき、利用客のニーズにも応じられる。
- 物産館的施設となると朝市と競合し、共倒れが予想される。
- 津波等を考慮すると、イベント会場や施設整備は如何なものか。
- 高齢者の利便性を考慮し、多目的ホール整備の意見も多くある。
- 第1段階として、まず駐車場として整備し、第2段階として、市民会館跡地のみでなく、その周辺も視野に入れた整備の検討を望む。

2 その他市政全般について

人口減少に対する施策として、体験型長期滞在型民宿、都市部からの農業希望者受入に係る農地取得面積の緩和、里山の活用などの移住・定住施策に関する提案、FM局、ケーブルテレビ等を用いた広報の充実、特に市ホームページへの批判が多く、早急に改善すべき旨の情報発信に関する意見、その他浜勝浦川、墨名川、鶴原理想郷等の景勝地の生活・自然環境整備に関する意見、また、小公園、運動施設の整備等の意見が出された。

なお、主な意見等は次のとおり。

(1) 移住・定住施策について

- 里山等を活用した体験型長期滞在型民宿の実施
1週間程度の間における山菜採り、田畑作業などを体験するとともに、自炊による部屋を提供し、地元の人ともふれあってもらおう。
- 都市部からの農業希望者受入に係る農地取得面積の緩和
都市部からの農業希望者が農地を取得するに際し、農地法による面積要件があるため、この要件を緩和し、参入を容易にしようとするもの。
- 企業誘致など若い方々が働ける場所の確保を要望する。
- 若い人達を援助するとか、家を造る補助金を交付するとか、人口を維持又は増やす方法を考えるのが一番大事である。
- 農家の人達が交流できる場の確保とともに、味の研修館のような施設を整備してもらいたい。

(2) 情報発信について

- FM局、ケーブルテレビを活用した情報発信を検討されたい。
- 市ホームページの構成に問題があり分かりにくく、また、更新が遅いという状況から見直しを望む。
- 案件によっては、市ホームページ、広報かつうらのみでなく、地区別集会を開催するなど、工夫して対応されたい。
- 観光客を呼び寄せる一手法として、マスコミの活用を強力に進めるべき。

(3) 防災対策について

- 避難路整備に当たっては、地域を一番良く知っている地域住民の方々と充分協議されたい。

- マンションを避難場所とした場合、オートロックへの対応、管理人との連携など、課題も多いので、計画的な訓練が欠かせない。
- 避難看板を設置し、スムーズな避難ができるようにしてもらいたい。
- 災害時の相互扶助形成にあたり、市民全員の合意形成を図る必要がある。
- 津波等の際の財産確保のため、地元5%負担による地積調査の実施を要望する。
- 防災行政無線の早期改善を要望する。

(4) 環境整備について

- 理想郷、官軍塚などの景勝地の景観確保（雑木の除去、伐採など）を図られたい。
- 浜勝浦川、墨名川の環境改善について、みんなで話し合っ、良い方向に持って行く必要がある。
- 自由に使用できる運動施設がないので、武道大学施設の利用と併せ、気軽にできる運動機会の創設を望む。
- 浜勝浦川、墨名川の暗渠化により、駐車場所あるいは物産市ができるようにすべき。
- 身近にくつろげる公園がないので、設置を望む。
- 勝浦駅にエレベーターの早期設置を望む。
- 国道の計画的草刈実施による道路環境の保持を望む。
- 勝浦漁港施設整備とあわせ河川機能の改善を要望する。
- 図書館の充実を要望する。

(5) 市民会議について

- 今回限りでなく、年代別、テーマ別などによる引続きの実施を希望する。
- 農業者の高齢化、担い手不足など、農村地域においても課題が山積しているので、審議事項として取り上げてもらいたい。

(6) その他

- 勝浦市は高齢化率が高いので、福祉のまちにするとか、観光等の基幹産業をもっと発展させるなど、将来的な勝浦の構想としてしっかり立ててほしい。
- 原発事故に対応した学習会の開催を望む。

- 平成25年に外房線で列車が走り始めて100周年を迎えるので、何らかのイベント開催を望む。
- 各地区の名所、旧跡などを点だけでなく、線につなげて面にしていくという発想が必要と考える。
- 現在子ども達が宇宙に関心を持っているので、芳賀の電波追跡所の更なる活用を図るべきと考える。
- 期日前投票において、4階が会場となるとエレベーターを使用し、電気も消費するので、1階ロビーの活用を図るべき。
- 第1投票所が2階にあり、高齢者が上れないので改善を図るべき。
- 勝浦若潮高校の統合問題があるが、特色ある勝浦若潮高校を存続させてもらいたい。
- 商店街の街路灯に係る電気代の市補助とあわせて、街路灯の増設・改良を要望する。
- 無料入浴券を希望しない者への商品券交付などの代替施策を要望する。

注1：PFI（Private Finance Initiative）とは

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法のこと。民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）に基づき実施する。